



株式会社ノリタケカンパニーリミテド

平成31年3月期 第2四半期決算説明会

代表取締役 社長

加藤 博

経営管理本部 財務部長

中村吉雅

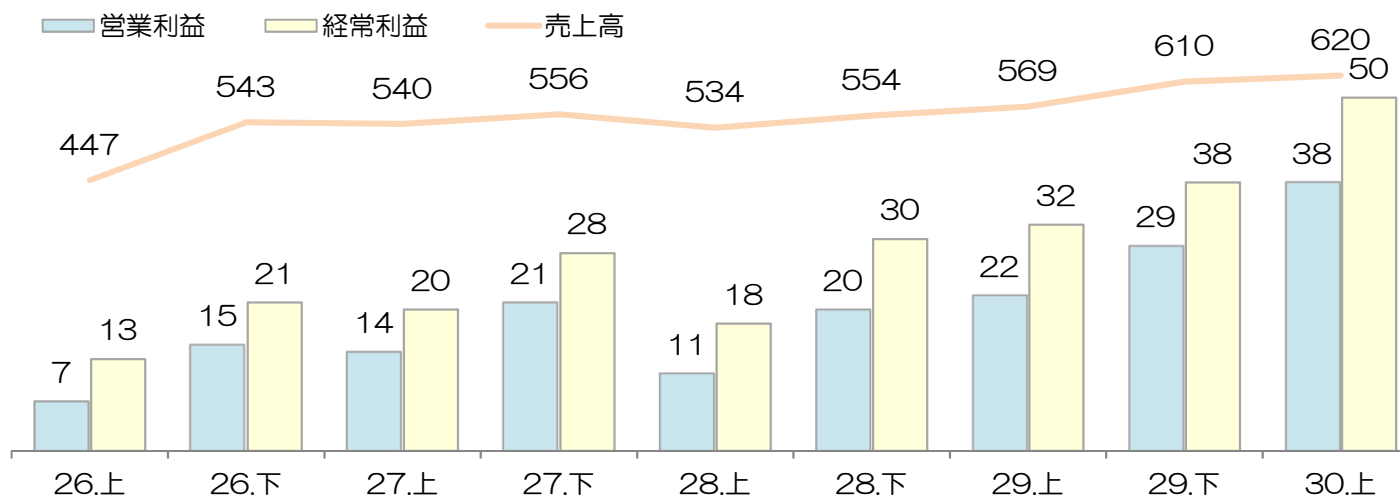
1. 平成31年3月期 第2四半期連結決算の概要
2. 平成31年3月期 業績予想及び重点施策

平成31年3月期第2四半期の連結業績

Noritake

(単位：億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
売上高	569	620	8.9%
営業利益	22	38	71.0%
経常利益	32	50	56.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25	41	64.5%

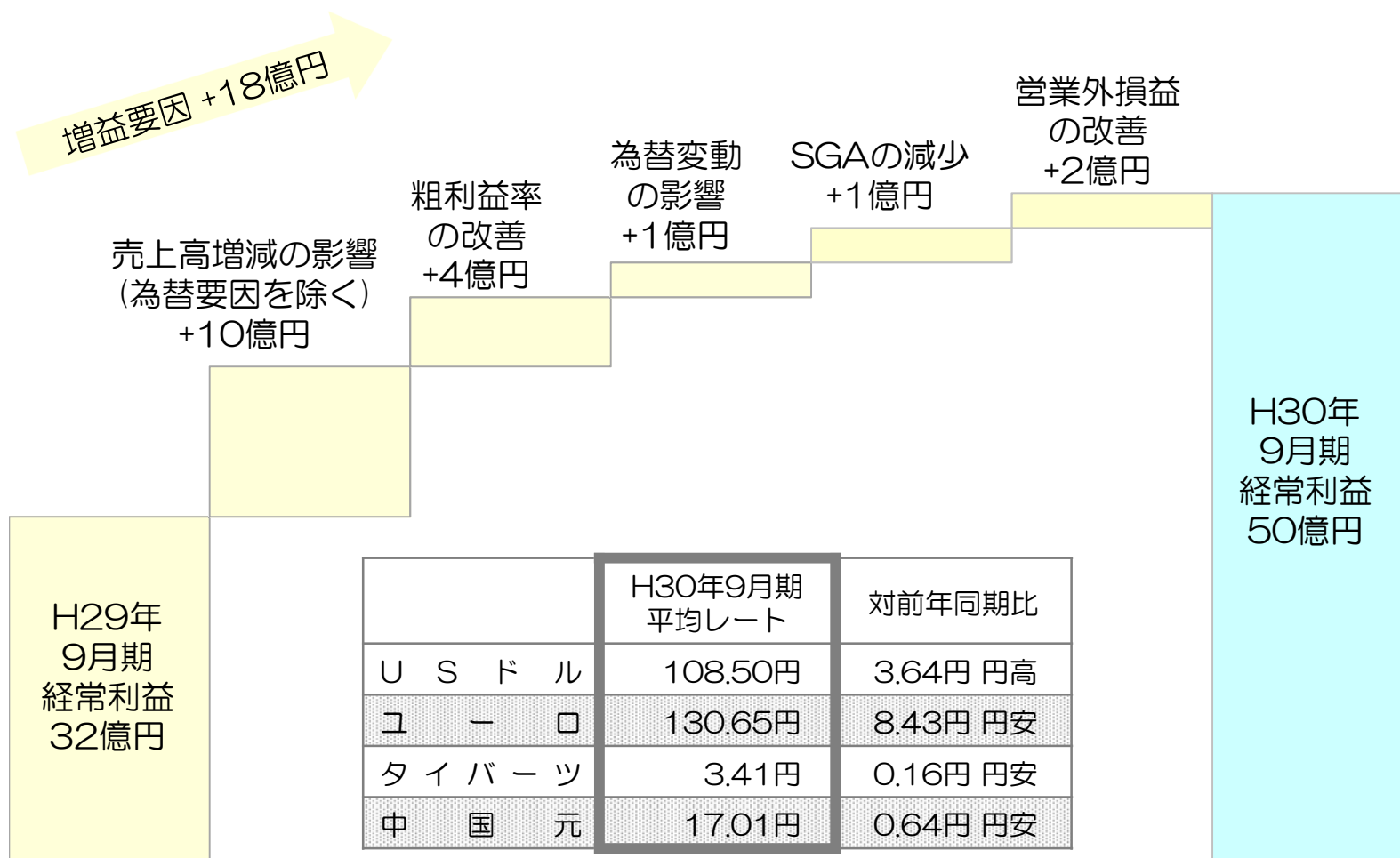
- 売上高に係る為替影響額 1億円
- 連結子会社の異動：連結子会社数23社(1社増加) 持分法適用4社(変更なし)
- 中間配当 40円/株 (期末配当 40円/株 予定 前期期末40円/株)



経常利益の変動要因

Noritake

前年同期比 18億円の増益



特別損益

Noritake

特別利益（単位：億円）	H29年9月期	H30年9月期
固 定 資 産 売 却 益	2.8	1.5
そ の 他	-	0.5
合 計	2.8	2.1

特別損失（単位：億円）	H29年9月期	H30年9月期
固 定 資 産 処 分 損	0.9	0.7
減 損 損 失	1.2	-
そ の 他	-	0.1
合 計	2.1	0.8

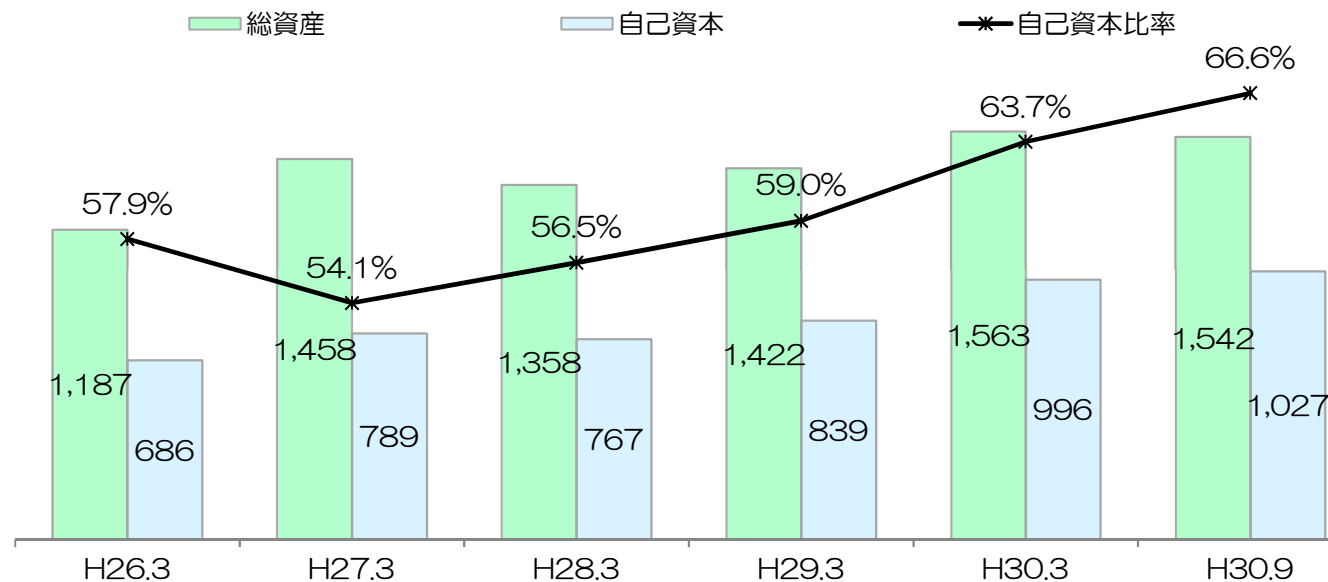
連結貸借対照表

Noritake

(単位：億円)	H30年3月期	H30年9月期	対前期末比
総資産	1,563	1,542	△21
自己資本	996	1,027	+31
1株当り純資産	6,941円	7,147円	+206円
自己資本比率	63.7%	66.6%	+2.9%

単位：億円

総資産、自己資本及び自己資本比率の推移



連結貸借対照表

Noritake

(単位：億円)	H30年3月期	H30年9月期	対前期末比
流動資産	730	698	△32
固定資産	833	844	+11
負債	533	481	△51
株主資本	854	890	+35
包括利益累計額	142	137	△4
非支配株主持分	34	34	△0

キャッシュ・フロー

Noritake

(単位:億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
営業活動によるCF	36	10	△26
投資活動によるCF	△6	△29	△23
フリーキャッシュフロー	30	△19	△49
財務活動によるCF	△19	△39	△20
現金及び同等物残高	100	101	+1

有利子負債、設備投資及び従業員数

Noritake

(単位：億円)	H30年3月期	H30年9月期	対前期末比
有利子負債	131	106	△25
現金預金	185	127	△58
ネット有利子負債	△54	△21	33

(単位：億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
設備投資	13	25	+12
減価償却費	20	20	△0

(単位：人)	H30年3月期	H30年9月期	対前期末比
正規国内従業員計	2,963	3,022	+59
正規海外従業員計	2,049	2,136	+87
正規従業員合計	5,012	5,158	+146
平均臨時雇用者数	787	736	△51

事業セグメント別の概況

Noritake

事業セグメントの構成

セグメント	製品カテゴリー		
工業機材	研削砥石	日本レヂボン製品	ダイヤ・CBN工具
	研磨布紙	関連商品	
セラミック・マテリアル	電子ペースト	厚膜回路基板	触媒担体
	セラミックコア	石膏	蛍光表示管
	セラミック原料	電子部材	
エンジニアリング	乾燥炉・焼成炉	混合攪拌装置	
	濾過装置	超硬丸鋸切断機	
食器	陶磁器食器	食器関連商品	装飾・美術品

事業セグメント別の概況

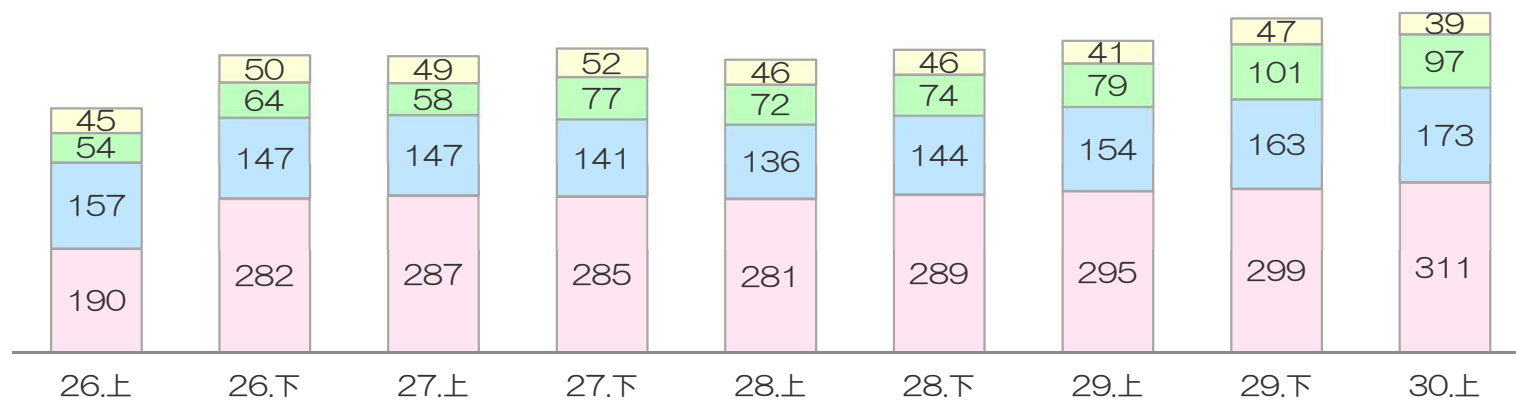
Noritake

セグメント別売上高

(単位：億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
工業機材	295	311	+5.4%
セラミック・マテリアル	154	173	+12.5%
エンジニアリング	79	97	+21.5%
食器	41	39	△4.1%
合計	569	620	+8.9%

■工業機材 ■セラミック・マテリアル ■エンジニアリング ■食器

単位：億円



株式会社ノリタケカンパニーリミテド

事業セグメント別の概況

Noritake

工業機材事業

研削砥石



ダイヤ・CBN工具



日本レヂボン製品



研磨布紙



関連商品

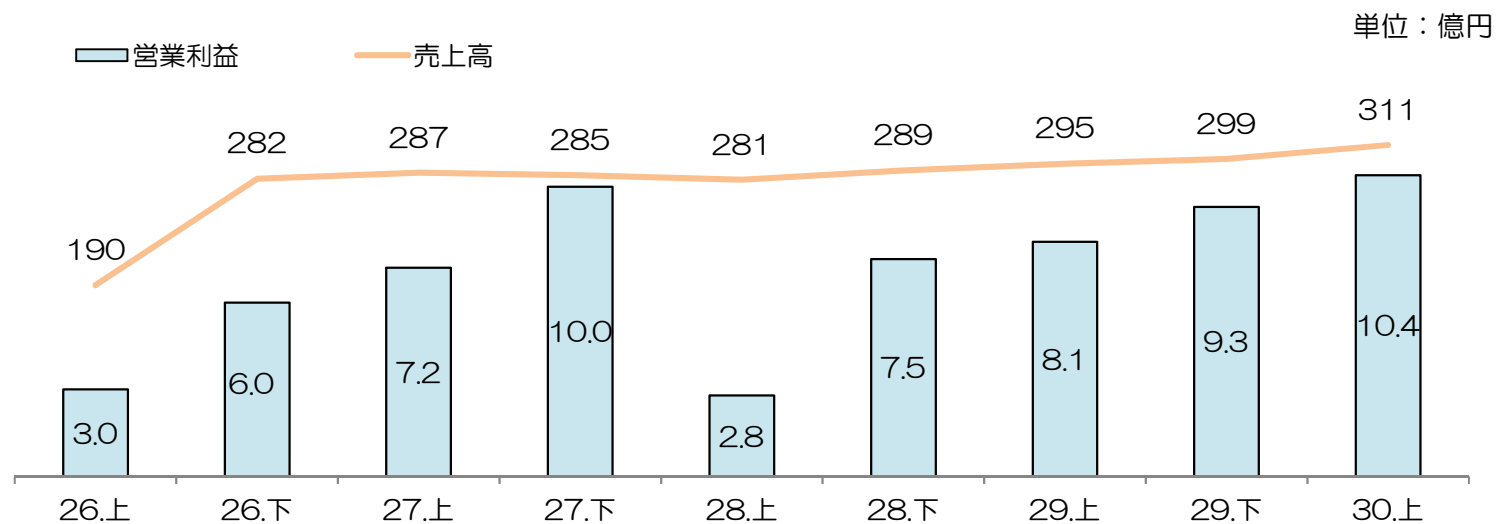


事業セグメント別の概況

Noritake

工業機材事業

(単位:億円)	H29年 9月期	H30年 9月期	対前年 同期比
売上高	295	311	+16
営業利益	8.1	10.4	+2.3



事業セグメント別の概況

Noritake

工業機材事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
研削砥石	82	89	+6
日本レヂボン製品	93	88	△5
ダイヤ・CBN工具	65	69	+5
研磨布紙	36	36	△0
関連商品	18	29	+10
合計	295	311	+16

事業セグメント別の概況

Noritake

セラミック・マテリアル事業

電子ペースト



厚膜回路基板



触媒担体



セラミックコア



石膏



蛍光表示管



セラミック原料・電子部材

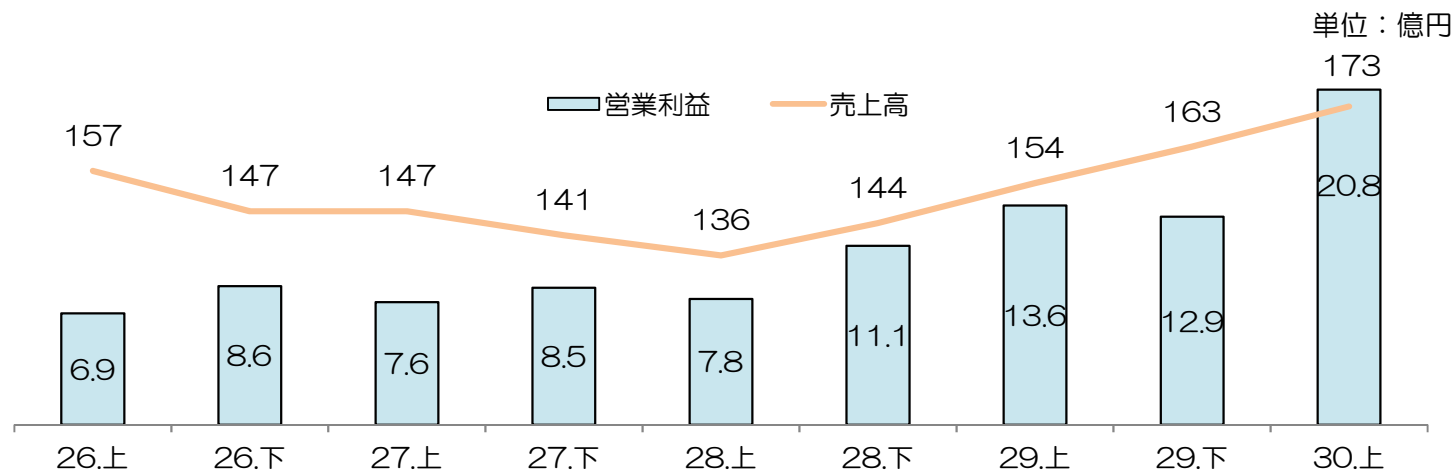


事業セグメント別の概況

Noritake

セラミック・マテリアル事業

(単位:億円)	H29年 9月期	H30年 9月期	対前年 同期比
売上高	154	173	+19
営業利益	13.6	20.8	+7.2



株式会社ノリタケカンパニーリミテド

事業セグメント別の概況

Noritake

セラミック・マテリアル事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
電 子 ペ ー ス ト	31	37	+6
厚 膜 回 路 基 板	10	10	△1
触媒担体・セラミックコア	13	14	+1
石 膏	14	14	△0
蛍 光 表 示 管	18	19	+0
共 立 セ ラ ミ ッ ク 原 料	33	34	+2
共 立 電 子 部 材	35	46	+10
合 計	154	173	+19

事業セグメント別の概況

Noritake

エンジニアリング事業

焼成炉



混合攪拌装置



濾過装置



超硬丸鋸切断機

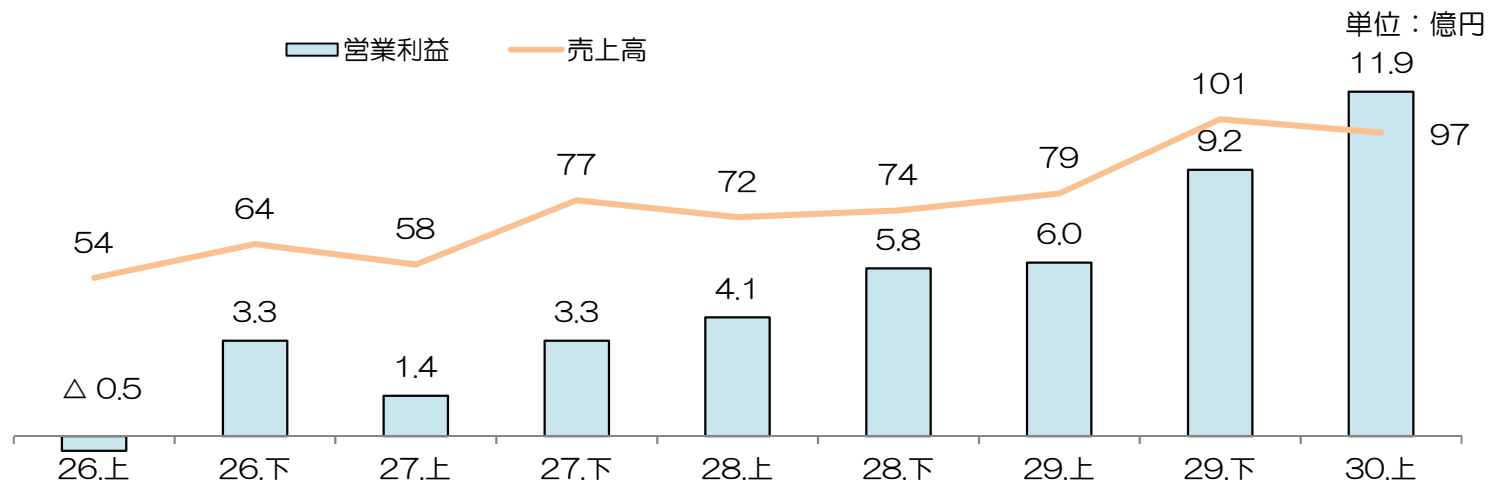
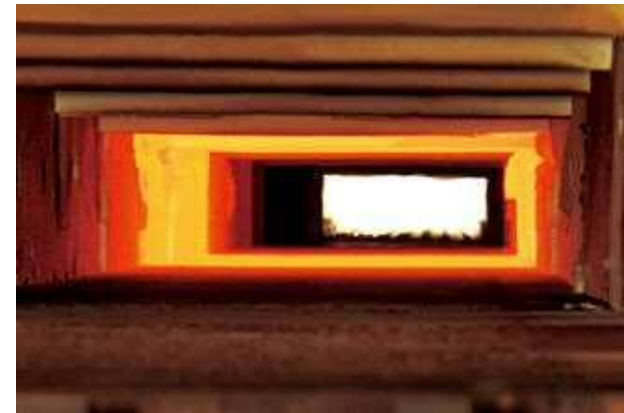


事業セグメント別の概況

Noritake

エンジニアリング事業

(単位:億円)	H29年 9月期	H30年 9月期	対前年 同期比
売上高	79	97	+18
営業利益	6.0	11.9	+5.9



事業セグメント別の概況

Noritake

エンジニアリング事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
乾 燥 炉 ・ 焼 成 炉	60	75	+15
混 合 攪 拌 装 置	6	6	△1
濾 過 装 置	6	9	+3
超 硬 丸 鋸 切 断 機	7	7	△0
合 計	79	97	+17

食 器 事 業

和花コレクション



シェールブラン



オーチャードガーデン

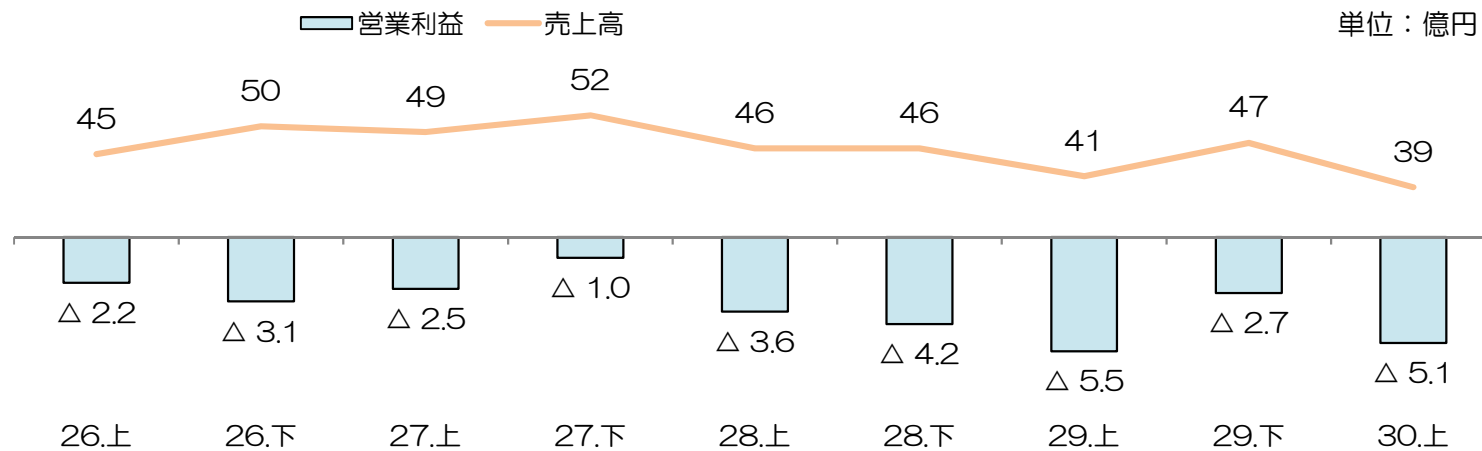


事業セグメント別の概況

Noritake

食 器 事 業

(単位:億円)	H29年 9月期	H30年 9月期	対前年 同期比
売 上 高	41	39	△2
営 業 利 益	△5.5	△5.1	+0.4



事業セグメント別の概況

Noritake

食 器 事 業

製品別売上高の推移

(単位:億円)		H29年9月期	H30年9月期	対前年同期比
国	内	18	18	△0
米	州	11	10	△1
欧 州	・ ア ジ ア	11	11	△0
合	計	41	39	△2

海外事業比率の推移

Noritake

海外販売 (金額ベース)	H30年 3月期	H30年 9月期	H31年 3月期
	実績	実績	計画
工業機材	33%	31%	32%
セラミック・マテリアル	50%	49%	51%
エンジニアリング	33%	44%	37%
食器	53%	53%	51%
合計	39%	40%	39%

海外事業比率の推移

Noritake

海外生産 (金額ベース)	H30年 3月期	H30年 9月期	H31年 3月期
	実績	実績	計画
工 業 機 材	16%	15%	15%
セラミック・マテリアル	37%	37%	36%
エンジニアリング	7%	7%	8%
食 器	47%	52%	49%
合 計	22%	22%	22%

2. 平成31年3月期 業績予想及び重点施策

平成31年3月期 業績予想



(単位:億円)	H30年3月期			H31年3月期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売上高	569	610	1,179	620	610	1,230	+51
営業利益	22	29	51	38	28	66	+15
経常利益	32	38	70	50	37	87	+17
特別損益	1	91	92	1	27	28	△64
税前利益	32	130	162	51	64	115	△47
純利益	25	110	134	41	49	90	△44
US\$為替	112.04 円			110 円			

平成31年3月期 業績予想

Noritake

売上高（億円）	H30年3月期	H31年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	594	311	630	+36
セラミック・マテリアル	317	173	345	+28
エンジニアリング	180	97	175	△5
食器	88	39	80	△8
売上高計	1,179	620	1,230	+51

営業利益（億円）	H30年3月期	H31年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	17.4	10	24	+7
セラミック・マテリアル	26.5	21	34	+7
エンジニアリング	15.2	12	17	+2
食器	△8.2	△5	△9	△1
営業利益計	51.0	38	66	+15

第10次中期経営計画の概要

第10次中期経営計画の対象期間：平成28年4月-平成31年3月

経営課題

急速に変化し、益々競争が激化するグローバル市場において、安定した収益と成長が期待できる事業体制、経営体制の構築を目指します。

経営目標（長期目標）

- | | |
|----------|---------|
| ① 売上伸長率 | 年率5% |
| ② 営業利益率 | 5% |
| ③ 海外販売比率 | 50% |
| ④ ROE | 5%以上 |
| ⑤ 自己資本比率 | 50%以上維持 |

基本戦略

- ① 製造・販売・技術が一体となって営業活動を推進することで、シェアを拡大するとともに、新しい市場の開拓を進めます。
- ② 新商品・新技術の開発によって市場競争力を高め、売上げの拡大を図ります。
- ③ 海外生産拠点の整備と海外市場の開拓を進め、事業の拡大を図ります。
- ④ 経営インフラを整備し、経営体制の強化を図ります。

工業機材事業

- 中国蘇州工場において、新工場棟の建設と大型砥石製造設備の増強を決定しました。
- 歯車研削用を中心に均一構造砥石が売上を順調に伸ばしました。



セラミック・マテリアル事業

- 電子ペーストは、車載分野や通信分野の電子部品用に商品を投入し、拡販を推進しました。
- 厚膜回路基板は、LED基板生産能力の増強を図りました。
- 電子部材は、MLCC用材料の生産体制の増強を図りました。



エンジニアリング事業

- 乾燥炉や焼成炉は、リチウムイオン電池や電子部品分野で確実に受注を積み上げるとともに、新素材分野での開発と拡販を推進しました。
- 混合攪拌装置及び濾過装置は、マイクロナノバブル発生器等の新用途開拓と自動車や工作機械分野での販売活動を強化しました。
- 超硬丸鋸切断機は新機種による市場開拓と国内外の販売力強化を図りました。



食 器 事 業

- ・国内市場では、ホテル・レストラン向けに業務用食器を拡販し堅調に推移しましたが、地方の百貨店やエアライン向けは苦戦しました。
- ・海外市場は、米国は主要顧客の百貨店等の販売低迷により不調でしたが、インド等アジア市場では、営業体制の強化により売上げが増加しました。





＊本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。